

一般社団法人 日本トイレ協会会長

高橋志保彦

第34回全国トイレシンポジウム実行委員長

小林 純子

第34回全国トイレシンポジウム 公共トイレが直面する問題を考える

残暑厳しき折、会員の皆様にはご活躍のことと拝察申し上げます。

今年の全国トイレシンポジウムは11月19日（月）に文化シヤッターBXホールで開催いたします。「公共トイレが直面する問題を考える」をテーマに、それぞれの専門家の方々から貴重なご講演を頂くことになりました。

現時点では最終的な決定には至りませんが、今年の概要は次の通りです。

第34回全国トイレシンポジウム企画 プログラム

1. テーマ 公共トイレが直面する問題を考える

2. 趣旨

公共トイレ改善の動きはマスコミでも多く取り上げられ、最近では基本的な課題は既に解決したと感じられる時さえあります。しかし、改善は程度の差はあるものの、現在の公共トイレ自身も多くの課題を抱えています。そして、全て解決が行き渡る前に、社会状況も刻々と変化し、新たな課題が生まれているのが現実の様です。

日本の公共トイレの質の高さは、国内外ともに認知されていますが、今後新たに大きく影響する課題があります。1つは2020年の東京で開催されるオリンピック、パラリンピック、2つは近年増加し続ける外国人観光客の対応、3つは高齢者人口の増加、4つは女性の活躍できる社会整備、5つはLGBT等性の多様性を見直そう等の動きです。これら社会の動きを契機に、公共トイレ改善の動きが活発です。

公共トイレ改善にあたり、新たにでてきた課題と残された課題の両方を解決する必要があります。それにはまず、双方の課題を明確とし、いま、公共トイレの現状はどうなっているのか、課題解決のために活動している事例を考察します。そして合わせて新たな課題とテーマを受け入れるために直面する課題はなにかを考察します。

本年のシンポジウムでは、新しい問題、古くからの問題を共に考え、これからの公共トイレのあるべき姿について議論をしたいと思います。

3. 開催概要

○期日 平成30年11月19日（月）9:30～17:30

11月10日は日本トイレ協会が定めた「トイレの日」、11月19日はユニセフが定めた「世界トイレの日」です

○会場 文化シャッターBX ホール 東京都文京区西片1丁目17-3

○参加費 無料（概要集は実費販売 2,000円）

○主催 一般社団法人日本トイレ協会

○後援（予定）

国土交通省、国土交通省観光庁、経済産業省、日本科学未来館、一般社団法人日本建築学会、公益法人日本建築家協会、都市環境デザイン会議、一般社団法人日本医療福祉建築協会、一般社団法人日本医療福祉設備協会、公益社団法人国際観光施設協会、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会、NPO法人給排水設備研究会、全国管工事業協同組合連合会、NPO法人地域交流センター（順不同）

○協賛（予定）別紙協賛のお願いにて募集中

TOTO株式会社、株式会社LIXIL、一般社団法人レストルーム工業会、日野興業株式会社、株式会社総合サービス、日本カルミック株式会社、株式会社アメニティ、株式会社井戸屋、湘南ステーションビル株式会社、櫻木神社、株式会社シミズオクト、YAMA-TO-NB株式会社、無臭元工業株式会社、株式会社アルボース、コマンニー株式会社、アメニティ、文化シャッター株式会社、トーションファシリーティーズ株式会社（順不同）

事務局

【第34回全国トイレシンポジウム実行委員会運営事務局】

実行委員長 小林 純子（一般社団法人日本トイレ協会副会長）

（有）設計事務所ゴンドラ内

〒112-0003 東京都文京区春日 1-5-3 春日タウンホーム 1階 A号室

Tel. 03-5805-3556

090-7010-5867（寅直通）

mail: sympo@j-toilet.com （担当 寅、事柴、浅井）

4. プログラム案

【午前の部】

9:00 受付

9:30 開会

開会挨拶：日本トイレ協会

9:40-10:30

●基調講演1 （仮題）「世界のユニバーサルデザインの動向」

講師：Valerie Fletcher氏（ヒューマンセンタード・デザイン研究所（IHCD）所長（在米国））

1998年より米ボストンに本拠があるユニバーサルデザインやADA法を扱うIHCD（人間中心設計研究所）所長。ハーバード大学修士卒（公共政策と倫理）。国連では経済と社会問題に関するアドバイザー。国際ユニバーサルデザイン協議会（IAUD）評議員。TOTO UD研究所の初代所長を歴任

10:30-11:20

- 基調講演2 (仮題) 「オリンピック・パラリンピックに関するユニバーサルデザインの取組み

～2020 競技場会場計画より～

講師：高橋 儀平氏 (東洋大学教授)

11:20-12:00

- 基調報告1 (仮題) 「ユニバーサルデザイン行動計画、法案改正の動き」

講師：奈良 裕信氏 (国土交通省総合政策局安心生活政策課長)

12:00-12:30

- グッドトイレ選奨 応募作品紹介 別紙募集要領を参照ください。

12:30-13:30 休憩・昼食 グッドトイレ選奨投票、企業等商品展示見学

【午後の部】

13:30-14:00

- 基調報告2 (仮題) 「認知高齢者のトイレ問題」

講師：野口 祐子氏 (日本工業大学 建築学部 建築学科 生活デザインコース 教授)

14:00-16:10

- パネルディスカッション「公共トイレが直面する問題を考える」

コーディネーター 小野田吉純氏 (国土交通省住宅局建築指導課)

- ・公衆トイレ改善調査報告 (2017 年度実施)

横浜市資源循環局、設計事務所ゴンドラ

- ・商業施設での最近の課題 (高齢者対応におわれる SC の現状)

湘南ステーションビル(株) ラスカ 田中 友里氏

- ・インバウンド等の課題

NEXCO 中日本 東京支社 横浜保全サービスセンター副所長 山本 浩司氏

- ・メンテナンスからみた現実

山戸 伸孝氏 (株アメリティ)

16:10-16:20 休憩

16:20-17:20

- プレゼンテーションセッション 別紙募集要領を参照ください。

～日本トイレ協会 会員による研究発表～ 最大4組

17:20-17:30

- 総括、閉会

【交流懇親会】

17:45-19:45 「グッドトイレ (作品・活動) 選奨」発表・表彰 参加費：4,000 円

5. 関連イベント

(1) グッドトイレ選奨 別紙募集要領を参照ください。

(2) 展示 (文化シヤッターBX ホールにて、参加者・市民向けの展示)

- ・グッドトイレ選奨応募作品パネル

- ・携帯トイレの備蓄など最近のトイレ問題についての啓発展示 (日本トイレ協会)

- ・企業展示 (協賛企業) 別紙募集要領を参照ください。

参考

・シンポジウム参加者予定 300人（前回約200人） ・交流会参加予定 70人（前回70人）

文化シャッターBX ホールへのアクセス： 東京都文京区西片1丁目17-3

都営地下鉄三田線「春日駅」A5・A6 出口より徒歩3分

都営地下鉄大江戸線「春日駅」A5・A6 出口より徒歩3分

東京メトロ南北線「後楽園駅」8番出口より徒歩7分

東京メトロ丸の内線「後楽園駅」4a 出口より徒歩12分

JR 総武線「水道橋駅」お茶の水寄り出口より徒歩15分



編集後記

日本トイレ協会の発足の原点でもある「公共トイレ」。全国トイレシンポジウムも34回を迎え、サブタイトルにもありますように、今、「公共トイレが直面する問題」を考え、語り合い、これからの公共トイレの在り方を探るあらたな一步を踏み出すきっかけとなりますことを期待し、オリンピック、パラリンピックを前にして、国際化が進む日本の公共トイレの在り方を議論しあえる「場」としていきたいと願っています。（運営委員 前(株)レンタルのニッケン 取締役常務執行役員 寅 太郎）

一般社団法人 日本トイレ協会

〒112-0003

JAPAN TOILET ASSOCIATION

東京都文京区春日1-5-3 春日タウンホーム1F～A

URL:<http://www.toilet-kyoukai.jp>

Tel 03-5844-6123

e-mail:jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp